



平成28年12月19日
奈良市子ども政策課

平素は奈良市の教育・保育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
10月21日（金）に開催いたしました説明会の概要を以下のとおりまとめましたので、配付いたします。

今後も説明会の開催やお知らせの配付をとおして、市の方向性をお伝えさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 当日の説明内容について

(1) 市立幼保施設が抱える課題について

- 市立幼保施設においては、幼稚園では園児数の減少、保育園では待機児童が課題となっています。また、施設の老朽化や人的な限界等により運営内容の更なる充実が困難など、ハードとソフト両方の課題を抱えています。そこで、本市では、市立幼保施設の再編（統廃合や民間移管）を計画的に進めることにより、様々な教育・保育ニーズに応えることができるよう取組を進めています。

(2) 富雄保育園の今後の方向性(案)について

- 富雄保育園の今後の方向性（案）については、早ければ平成32年4月を目途に民間移管することにより、私立認定こども園への移行を検討しています。

(3) アンケートの実施について

- 今回の説明会の内容等に関して保護者の皆様へアンケートを実施し、その結果を今後の説明会の内容や、民間移管に向けた取り組みへ反映させていきたいと考えています。

2 説明会時にいただいたご質問等と市の考え方について

(1) 市の方針に関するもの

Q1 民間移管に向けたスケジュールが示されているが、平成32年度から前倒しで移管するようなことはあるのか。

A1 移管先法人への引継期間を少しでも長く取るためには、法人選定自体を早期に行う必要があると考えていますが、平成32年度よりも前の年度に移管することは想定していません。

Q2 統廃合を行っているのであれば、閉園させた幼稚園を活用して民間に運営してもらえばよいのではないかと。そうすれば、富雄保育園も残り、さらに私立園ができて、受け皿がさらに拡大されるのではないかと。

A2 少子化が進行している状況においても、保育ニーズは多様化しています。本市の厳しい財政状況と限られた人材の中で、運営内容をさらに充実させていくためには、すべての園を市立のままで運営を続けていくことが困難な状況にあります。そのため、市立幼保施設の民間移管に取り組むこととしています。

Q3 民間移管を受け入れることができない場合、他の市立保育園へ優先的に転園させてもらえるのか。

A3 基本的な保育内容は、国が示す指針に基づいて実施していますので、市立・私立を問わず同様の内容であると考えています。現状の本市の制度では、転園をお約束することはできませんが、保護者の皆様が今後の就園先を検討する時間を少しでも確保できるよう、方向性を検討している段階でお知らせさせていただきました。

Q4 なぜ富雄保育園を民間移管するのか。学園南保育園は市立こども園に移行するが、市立と民間移管を判断する基準を教えてください。

A4 市立幼保施設の再編の前提として、現状の施設数や運営状況を維持したまま、保育内容をさらに充実させていくことは非常に困難な状況にあります。そのため、統合再編や民間移管といった手法により人材や財源を生み出しているところです。その中で、他の市立施設との統合再編を行うことによって認定こども園に移行する場合は市立の認定こども園として運営し、単独で認定こども園に移行する場合には、基本的には私立に移管したうえで認定こども園として運営することとしています。

Q5 本日の内容は決定事項なのか。地域や保護者からの反対の声が大きければ、方針を変更するのか。

A5 今回の説明内容は案として説明したものであり、決定事項ではありませんが、市子ども未来部としては、民間移管を行いたいと考えています。今後も、説明会やアンケート等をおして皆様のご意見やご提案をいただき、市としての方針決定につなげていきたいと考えています。

Q6 認定こども園に移行すると、幼稚園部分の定員を設定するために、保育園部分の定員が減ってしまうのか。

A6 認定こども園は、3歳児以上は保育を必要とする、しないに関わらず利用することができる施設です。そのため、入園後にお仕事等を辞めることになった場合でも、引き続き卒園まで通園することが可能ですが、定員の設定にあたっては、現在の富雄保育園の定員に幼稚園部分の定員を追加して設定しますので、保育園部分の定員が減少することはありません。

(2)受け皿の拡大に関するもの

Q1 民間移管することで、受け皿を拡大させるとのことであるが、受け皿を拡大しようとする園庭が狭くなるのではないかと懸念されている。受け皿の拡大は確かに魅力的ではあるが、周辺の保育園と比べて園庭が広いので、園庭が狭くなるのは寂しい。また、駐車場も狭くなるようなことは避けてほしい。

A1 受け皿の拡大方法の検討にあたりまして、園庭の広さ等、現在の富雄保育園の環境面での良い面を失わないよう、本日いただいたご意見を重く受け止め、今後の検討に活かしたいと考えています。

Q2 富雄保育園は保育室自体が狭い。子どもを預けているクラスは定員をオーバーしていると聞いている。そのような状態で、どうやって定員を拡充させるのか。何人分拡充するか等、内容は決定しているのか。

A2 定員を拡充する方法等については、現在検討しているところですが、富雄保育園舎は保育室に余裕がありませんので、現状のまま子どもを詰め込むようなことは行いません。

(3)職員に関するもの

Q1 民間移管すると、富雄保育園の先生全員がいなくなってしまうのか。

A1 民間移管する場合、市の正規職員の保育士等は、すべて入れ替わることになります。ただし、保育士等が入替わることによる子どもへの影響が出ないようにするため、移管先法人への引継をきちんと計画を立てたうえで慎重に実施するとともに、移管先法人と富雄保育園の保育士等による共同保育等を実施することとしています。

Q2 正規職員がいなくなることは大きなデメリットである。メリットばかりを言われているが、他にデメリットと考えているものはあるのか。

A2 富雄保育園に在園している園児への影響という点で、職員が入替わることが最も大きなデメリットであると考えています。そのため、移管先法人への引継期間を少しでも長く確保し、慎重に進めていきます。また、他の市立幼保施設においても、民間移管に向けた取り組みを進めている園がありますので、それらの園の進捗状況や取り組みの中で生じた課題等を、富雄保育園の保護者の皆様にもお伝えさせていただきたいと考えています。

3 アンケート実施結果について

説明会後に実施いたしましたアンケートについて、お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。いただいたご意見は、今後の説明会や民間移管に向けた取り組み内容に反映させていただきます。

なお、いただいたご意見等の内容は、まとめた上で後日改めて配布いたします。

- アンケート集計期間 …… 10月21日～11月30日
- 回答数 …… 19件

富雄保育園の民間移管に関する問い合わせ先

[担当課] 奈良市 子ども政策課 (市役所中央棟3階)
(担当) 柏木 ・ 宮寺

[TEL] 0742-34-4792 [FAX] 0742-34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[市立幼保施設の再編に関する市のホームページ]

<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/000000000000/1366066836305/index.html>

